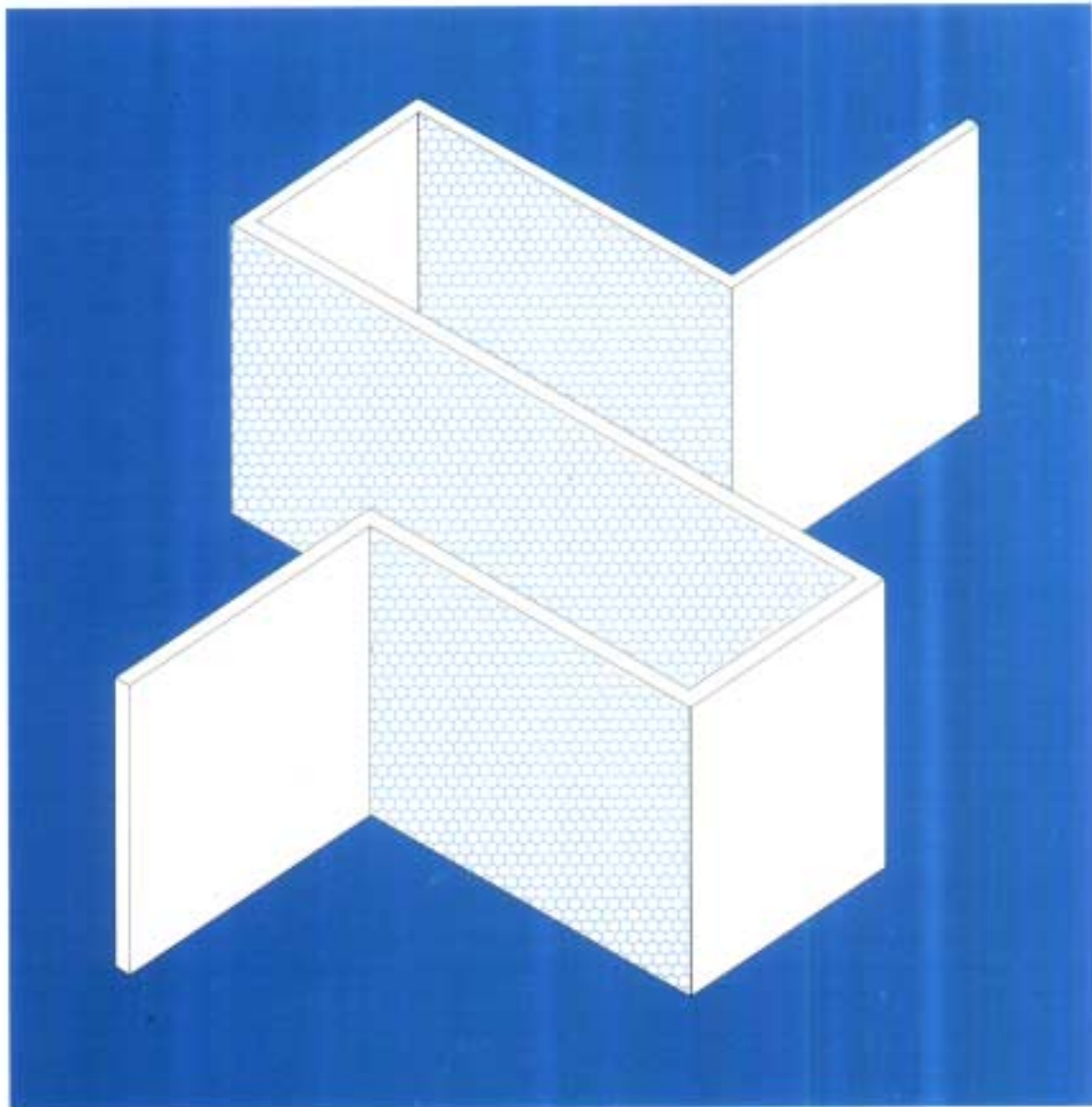


生産管理 基礎(II)



雇用促進事業団
職業能力開発大学校研修研究センター

目 次

第1章 品質管理

1 品質の重要性と標準

1.1 品質の重要性	1
(1) 使用品質、設計品質	1
(2) 製造品質、販売品質	3
1.2 標準	5
(1) 社内標準	6
(2) 社外標準	8

2 3Mの管理と検査

2.1 3Mの管理	9
(1) 人（作業）の管理	9
(2) 機械設備の管理	15
(3) 材料、部品の管理	18
2.2 検査	21
(1) 受入検査、工程検査、製品検査	21
(2) 検査項目	22
(3) 全数検査、抜取検査	22
(4) 検査形態	23

3 データとQC的問題解決

3.1 データ	24
(1) データの種類	24
(2) データの収集	24
(3) データのまとめ方	26
3.2 QC的問題解決	29
(1) QCストーリー	29
(2) TQC	32

第2章 設備管理

1 設備計画

1.1 設備の種類	37
1.2 設備導入の目的	38
(1) 生産技術力の向上	39
(2) 生産能力の増強	39
(3) 合理化の推進	40
(4) 生産環境の改善	41
1.3 設備導入の採算検討	41
(1) 限界利益活用法	42
(2) 原価比較法	42
(3) 投資利益率法	43
(4) 資本回収期間法	44

2 設備保全

2.1 設備効率の高め方	45
(1) 3大ロスの内容	46
(2) 設備総合効率	46
(3) 生産保全の方式	48
(4) 故障の防止	49
(5) 段取調整の効率化	52
(6) チョコ停の防止	53
(7) 速度低下の防止	54
2.2 自主保全の進め方	54
(1) 清掃点検	55
(2) 発生源・困難箇所対策	57
(3) 清掃給油基準の作成	57
(4) 総点検	58
(5) 自主点検	59
(6) 維持管理	59
(7) 自主管理	63
2.3 計画保全の進め方	64
(1) 保全計画	64

(2) 保全記録	65
(3) 予備品管理	66
(4) 保全費	67
3 設備環境	
3.1 職場の安全管理	69
(1) 設備配置の適性化	70
(2) 環境条件の維持	70
(3) 安全な設備	71
(4) 安全装置	71
3.2 公害防止	73
(1) 公害の要素	73
(2) 公害対策	74
3.3 環境保全	75

第3章 原価管理

1 原価の分類	
1.1 原価の発生形態による分類（形態別分類）	78
(1) 製造原価の構成	78
(2) 減価償却費とは	79
1.2 製品との関連による分類（製品別分類）	80
1.3 操業度との関連による分類（操業度別分類）	80
(1) 損益分岐点図表	81
(2) 損益分岐点の算出	82
2 原価計算	
2.1 原価計算の種類	84
(1) 個別原価計算と総合原価計算	84
(2) 標準原価計算と実際原価計算	85
(3) 全部原価計算と部分原価計算	85
2.2 製品別原価計算	86

(1) 費目別原価計算	86
(2) 部門別原価計算	90
(3) 製品別原価計算	93
2.3 標準原価計算	99
(1) 原価標準の設定	99
(2) 製品原価の算出	99
(3) 原価差異の算定と分析	100
2.4 直接原価計算	103
3 原価低減	
3.1 材料費の低減	104
(1) 購買価格の引き下げ	104
(2) 製品仕様の検討	105
(3) 歩留りの向上	107
3.2 外注加工費の低減	108
(1) 外注単価の算定	108
(2) 外注の利用範囲	108
(3) 外注先の選定と育成	109
3.3 社内加工費の低減	109
(1) 工数低減（生産性向上）	109
(2) 不良削減（品質向上）	110
(3) 在庫削減（生産期間短縮）	110
(4) 経費節約（経費の効率化）	111
演習問題	115
品質管理とQC活動	123